目次

メニュー

索引

SONY

詳細操作ガイド

NW-E023F / E025F / E026F

3-291-853-**01** (2)

マニュアルについて

本機には、「取扱説明書」と「詳細操作ガイド（PDF）」、「安全のために」の3つのマニュアルが付属しています。また、付属のSonicStageソフトウェアをインストールすれば、SonicStageのヘルプを参照できます。

– 別冊の「取扱説明書」は、本機をお使いになる前の準備と、本機の基本的な操作（曲のパソコンからの転送、本機での再生方法、FMラジオの聞き方など）を説明しています。
  また、「詳細操作ガイド」（このPDF）に記載の「使用上のご注意」、「故障かな？と思ったら」の内容も記載されていますので、困ったときのガイドとしてご利用いただけます。
– 別紙の「安全のために」は、事故を防ぐための重要な注意事項を示しています。
– 「詳細操作ガイド」（このPDF）は、本機の基本操作に加え、応用操作や困ったときの対処法を説明しています。
– SonicStageのヘルプは、音楽をパソコンに取り込む方法や本機へ転送する方法などSonicStageの操作について詳しく説明しています（☞3ページ）。

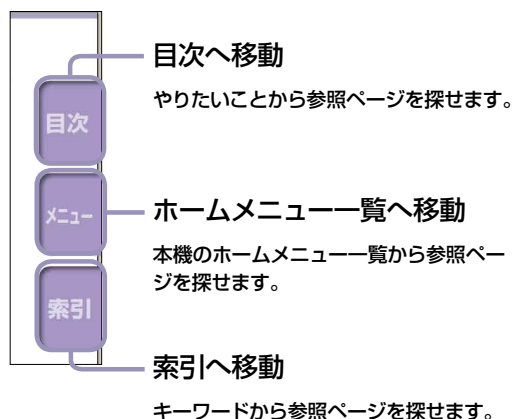
本マニュアルは日本でお買い上げのお客様専用のマニュアルです。

詳細操作ガイドの見かた

詳細操作ガイドのボタンを使うには

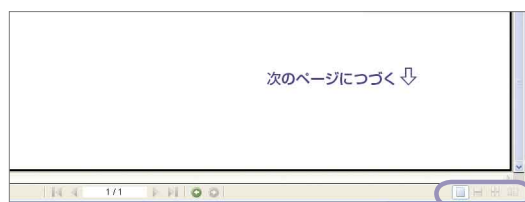
右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
  例：(☞4ページ)
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。
- お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ
1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ
ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

SonicStageのヘルプについて

音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法など、SonicStageを使う操作について詳しくは、付属のSonicStageのヘルプをご覧ください。

1. **SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。**
   ヘルプが表示されます。

ご注意

- ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

目次

次のページにつづく ⇩

FMラジオ放送を聞く

役に立つヒント

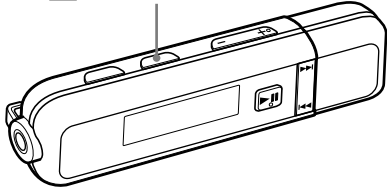
困ったときは

その他

目次
メニュー
索引

ホームメニュー一覧

本機の /HOMEボタンを押したままにするとホームメニューが表示されます。ホームメニューは、本機の各機能の入り口になり、曲の検索や設定変更など以下の機能を実行できます。

使用している機能や設定により、選択できる項目は異なります。

ホームメニュー *

* 選択できるアイコンの種類は最大7個あり、現在利用している機能によって変化します。一度に表示されるアイコンは最大で5個です。⏮/⏭ボタンを押して選択し、►❚❚ボタンを押して決定します。

目次
メニュー
索引

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

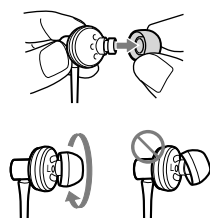
- □ ヘッドホン（1）
- □ ヘッドホン延長コード（1）
- □ イヤーピース（Sサイズ、Lサイズ）（各サイズ2個1組）
- □ スタイルアップ®パネル（1）
- □ スタイルアップパネル®用USBキャップ（1）
- □ CD-ROM*（1）
  - SonicStageソフトウェア
  - 詳細操作ガイド（PDF）
- □ 取扱説明書（1）
- □ 安全のために（1）
- □ 保証書（1）
- □ ソニーご相談窓口のご案内（1）
- □ カスタマー登録のお願い（1）

* 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

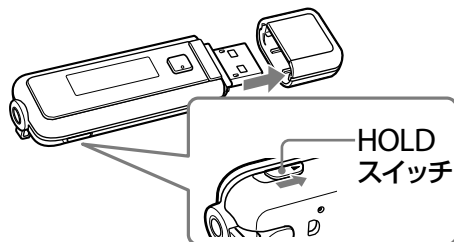
イヤーピースの正しい装着方法

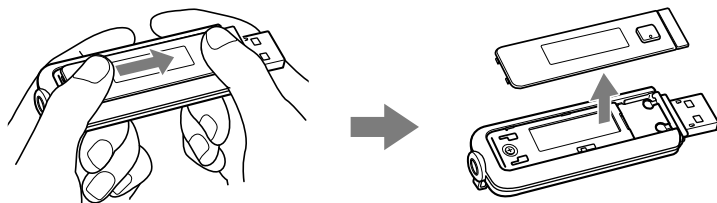
イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音がよく聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためにはイヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。イヤーピースがはずれ耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際にはヘッドホンにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤーピースを回転してください。

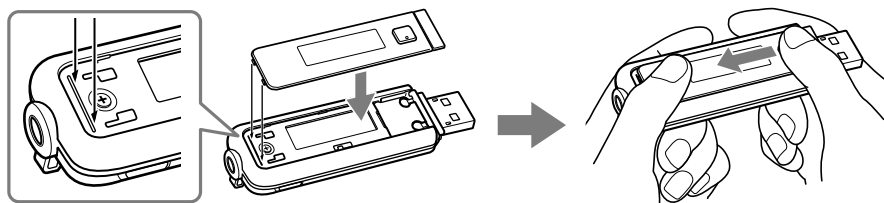
次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

スタイルアップ®パネルをつけかえる

本機では、スタイルアップ®パネルやUSBキャップをつけかえることができます。

1 HOLDスイッチを矢印の方向（▷）にスライドして、操作ボタンを働かなくしてから、USBキャップを取りはずす。

2 スタイルアップ®パネルを、下図のように取りはずす。

スタイルアップ®パネルを、矢印の方に少しスライドさせてから、上に持ち上げて取りはずします。

3 付属のスタイルアップ®パネルを、下図のように取り付ける。

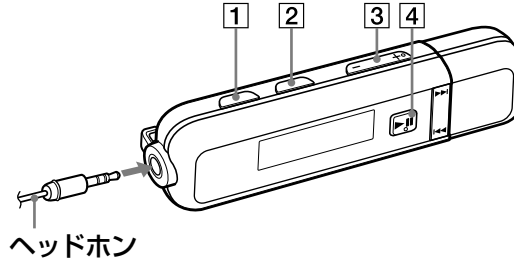
本体の合わせ位置に合わせてスタイルアップ®パネルを上から置き、スライドさせて取り付けます。

4 付属のスタイルアップパネル®用USBキャップを取り付ける。

ご注意

- 本機を使用するときには必ずスタイルアップ®パネルを装着してください。
- スタイルアップ®パネルは正しく取り付けてご使用ください。正しく取り付けられていないと、スタイルアップ®パネルが浮いた状態となり、操作ボタンが反応しなくなることがあります。
- スタイルアップ®パネルの中に埃などの異物が入ってしまった場合は、乾いた布などで拭いて取り除いてください。

目次
メニュー
索引

各部の名前

本体表面

1 PLAY MODE/SOUND*1 ボタン

再生方法を切り換えます（☞28ページ）。
押したままにすると、音質設定が変わります（☞29ページ）。

2 🗀/HOME*1 ボタン

曲の再生／一時停止画面で、曲操作モード／フォルダー操作モードを切り換えます。曲操作モードでは、曲を曲単位で頭出しすることができます。また、フォルダー操作モードでは、曲をアルバム／アーティスト単位で頭出しすることができます。表示部に♫と◎（曲の並び順をアルバム名順にしている場合）のどちらが表示されているかで、曲操作モードかフォルダー操作モードかが確認できます。
押したままにすると、ホームメニューが表示されます。

*1 本体上のボタン近くにある○はボタンを押すと使える機能、⬭はボタンを押したままにすると使える機能です。

*2 凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

3 VOL＋*2/－ボタン

音量を調節します。

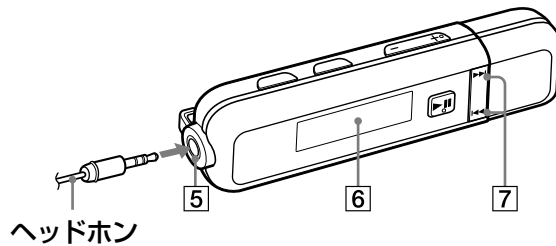
4 ►❚❚*2 ボタン

表示部に►が表示され、再生が始まります。もう一度押すと❚❚が表示され、再生が一時停止します。
表示部にメニュー項目が表示されているときは、その項目を決定します。

電源を切るには

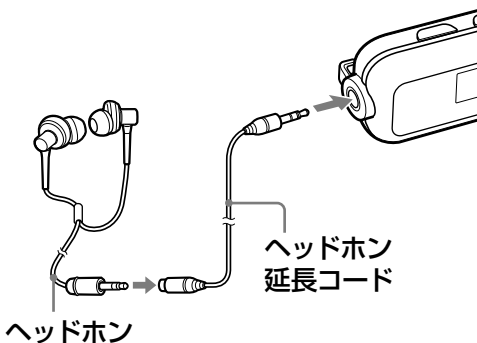
►❚❚ボタンを押して再生やFMラジオ放送の受信を一時停止すると、数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。
再生待機状態では、電池の消耗はほとんどありません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 ヘッドホンジャック

ヘッドホンまたはヘッドホン延長コードを接続します。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンが正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

ヘッドホン延長コードを使うとき

クリアステレオ機能をヘッドホン延長コードを使うときに最適な設定に変更することをおすすめします（☞34ページ）。

6 表示部

☞12ページをご覧ください。

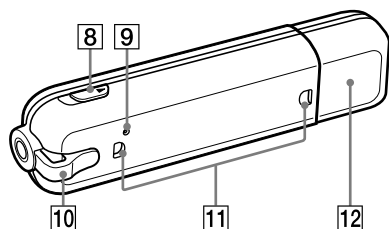
7 ⏮/⏭ボタン

曲またはアルバム、アーティスト、メニュー項目を選びます。
また、以下の操作で曲／アルバム／アーティストの頭出しや早送り／早戻しを行えます。

- **⏮（⏭）を短く押す**
  再生中の曲／アルバム／アーティスト（次の曲／アルバム／アーティスト）を頭出しします。
- **曲操作モード中での再生中に⏮（⏭）を押したままにして、止めたい場所で手をはなす**
  再生中の曲を早戻し（早送り）します。
- **一時停止後すぐに、⏮（⏭）を押したままの状態にする**
  一時停止中の曲／アルバム／アーティスト（次の曲／アルバム／アーティスト）、前の曲／アルバム／アーティスト（さらに次の曲／アルバム／アーティスト）を連続して頭出しします。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体裏面

8 HOLD（ホールド）スイッチ

誤ってボタンが押されて動作することを防ぎます。
HOLDスイッチを矢印の方向（▷）にスライドすると、操作ボタンが働かなくなります。ホールド中に他のボタンを押すと「HOLD」が表示されます。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると、ホールドが解除されます。

9 RESET（リセット）ボタン

クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すことで、本機をリセットできます（☞80ページ）。

10 ストラップ取り付け口

ストラップ（別売り）を取り付けます。

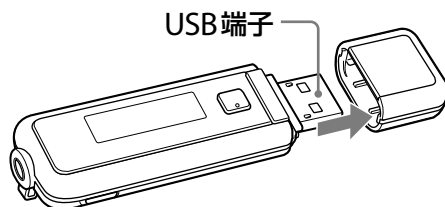
11 アクセサリー取り付け部

アクセサリー取り付け部に対応した、アクセサリー（別売り）を取り付けます。

12 USBキャップ

キャップを取りはずし、USB端子をパソコンと接続します。

キャップを取りはずすには

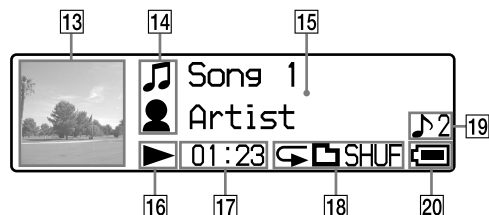
キャップは下図のように取りはずします。

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は

専用USB接続補助ケーブルPC-U002を補修部品（有償）としてご用意しています。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へお問い合わせください。また、USBロゴのついたセルフパワーのUSBハブでもご使用になれます。

次のページにつづく ⇩

表示部

ジャケット写真を表示に設定している場合（お買い上げ時の設定）

ジャケット写真を非表示に設定している場合

13 ジャケット写真表示

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、表示画面にアルバムのジャケット写真が表示されます。ジャケット写真を非表示に設定することもできます（☞42ページ）。
ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

14 アイコン表示

曲操作モードの場合、1行目は♫が表示され、2行目は曲の並び順（☞39ページ）の設定によって◎または👤が表示されます。
フォルダー操作モードの場合、1行目は曲の並び順（☞39ページ）で設定したグループのアイコンが表示され、2行目は◎または👤が表示されます。
また、プレイリストを再生（☞14ページ）している場合、フォルダー操作モードにすると1行目に選択したプレイリスト（▶：SonicStageで作成したプレイリスト、100：よく聞く100曲、□➧：新しく転送したアルバム）が表示されます。

15 文字情報／グラフィック表示

アルバム名、アーティスト名、曲名などの表示や、時計表示、エラー表示、メニュー画面などが表示されます。

画面の表示内容は、「Display Mode」メニューで変更できます（☞40ページ）。
また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換わるように設定することもできます（☞55ページ）。

16 再生状態表示

現在の再生状態（▶：再生中、❚❚：一時停止中、◀◀（▶▶）：早戻し（早送り）、|◀◀（▶▶|）：現在の曲（次の曲）の頭出し）が表示されます。

17 経過時間表示

経過時間が表示されます。

18 再生方法（プレイモード）表示

現在の再生方法（プレイモード）のアイコンが表示されます（☞28ページ）。プレイモードが「Normal」に設定されている場合は、何も表示されません。

19 音質設定表示

現在の音質設定のアイコンが表示されます（☞29ページ）。音質設定が設定されていない場合は、何も表示されません。

20 電池残量表示

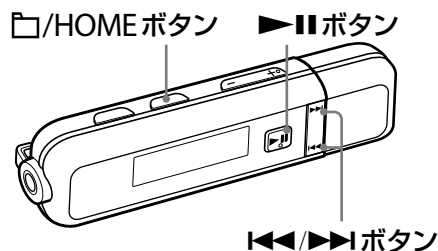
電池残量が表示されます（☞72ページ）。

ヒント

- FMラジオの表示については「FMラジオ放送を楽しむ」（☞63ページ）をご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲を再生する（All Songs）

本機に転送した曲を再生します。お買い上げ時の再生の設定は、「All Songs」になっています。

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2 I◄◄/►►Iボタンで ♫（All Songs）を選び、►IIボタンを押して決定する。

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、本機に転送したすべての曲の、はじめの曲から再生が始まります。
曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

曲の頭出しをしたいときは

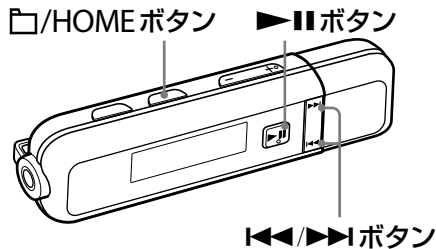
曲の再生中／一時停止中にI◄◄（►►I）ボタンを押すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／一時停止中に /HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、I◄◄（►►I）ボタンを押すと曲の並び順（☞38ページ）で設定したグループで、現在のグループ（次のグループ）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- PLAY MODE/SOUNDボタンを押して再生方法を変更すると（☞28ページ）、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- 曲の並び順は、Sortメニュー（☞38ページ）で設定されている順番になります。お買い上げ時の設定では、「アルバム名順」に曲が並びます。

目次
メニュー
索引

プレイリストを再生する（Playlist Select）

SonicStageで作成したプレイリスト、よく聞く100曲、新しく転送したアルバムのいずれかのモードで曲を再生します。

ご注意

- （Playlist Select）を選んだときは、ホームメニューに（Search）と（Jacket Search）は、表示されません。
- プレイリストの曲の並び順はSortメニュー（☞38ページ）で変更することはできません。

SonicStageで作成したプレイリストを再生する（Playlists）

SonicStageで作成したプレイリストを再生します。SonicStageでプレイリストの名前を変更すると、変更した名前で本機に表示されます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2 I◄◄/►►Iボタンで （Playlist Select）を選び、►IIボタンを押して決定する。

プレイリスト一覧が表示されます。

3 I◄◄/►►Iボタンで「Playlists」を選び、►IIボタンを押して決定する。

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、SonicStageで作成したプレイリストの、はじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／一時停止中に⏮（⏭）ボタンを押すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／一時停止中に🗀/HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、⏮（⏭）ボタンを押すと再生中のプレイリスト（次のプレイリスト）の最初の曲を頭出しします。

ヒント
- PLAY MODE/SOUNDボタンを押して再生方法を変更すると（☞28ページ）、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- プレイリストの再生をやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで🗀/HOMEボタンを押したままにして、メニューから♫（All Songs）を選び、►❚❚ボタンを押して曲を再生してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

よく聞く100曲を再生する（Favorite 100）

SonicStageが自動で作成するプレイリストを再生します。SonicStage接続時に、本機で再生された再生回数の多い100曲が更新され、再生回数の多い順に表示されます。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **⏮/⏭ボタンで （Playlist Select）を選び、⏯ボタンを押して決定する。**
   プレイリスト一覧が表示されます。

3. **⏮/⏭ボタンで「Favorite 100」を選び、⏯ボタンを押して決定する。**
   前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、はじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／一時停止中に⏮（⏭）ボタンを押すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／一時停止中に /HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、⏮（⏭）ボタンを押すと「Favorite100」の先頭の曲を頭出しします。

ヒント

- よく聞く100曲は、SonicStage接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 再生した曲が100曲未満のとき、または本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。
- PLAY MODE/SOUNDボタンを押して再生方法を変更すると（☞28ページ）、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- プレイリストの再生をやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにして、メニューから （All Songs）を選び、⏯ボタンを押して曲を再生してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

新しく転送したアルバムを再生する（Recent Transfers）

最も新しく転送されたアルバムを再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **⏮/⏭ボタンで （Playlist Select）を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**
   プレイリスト一覧が表示されます。

3. **⏮/⏭ボタンで「Recent Transfers」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**
   前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、はじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／一時停止中に⏮（⏭）ボタンを押すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。

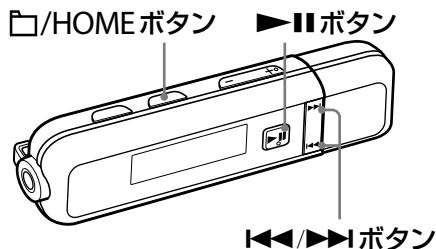
曲の再生中／一時停止中に /HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、⏮（⏭）ボタンを押すと、現在のグループ（次のグループ）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- PLAY MODE/SOUNDボタンを押して再生方法を変更すると（☞28ページ）、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- プレイリストの再生をやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにして、メニューから♫（All Songs）を選び、▶⏸ボタンを押して曲を再生してください。

目次
メニュー
索引

シャッフル再生する（Intelligent Shuffle）

4通りのシャッフルモードから選び、曲を順不同に再生（シャッフル再生）できます。

ご注意

- インテリジェントシャッフル中は、再生方法（☞28ページ）が自動的にシャッフルになります。
- インテリジェントシャッフル中は、Display Mode（☞40ページ）で設定した表示画面には切り換わりません。
- インテリジェントシャッフル中は、ジャケット写真は表示されません。

よく聞く100曲をシャッフル再生する（My Favorite Shuffle）

再生回数の多い100曲を順不同に再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **I◄◄/►►Iボタンで （Intelligent Shuffle）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択画面が表示されます。

3. **I◄◄/►►Iボタンで「My Favorite Shuffle」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   よく聞く100曲がシャッフルされ、再生が始まります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- /HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、⏮(⏭)ボタンを押すと、再生回数の多い100曲が再び最初からシャッフル再生されます。
- よく聞く100曲は、SonicStage接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数でシャッフル再生されます。
- インテリジェントシャッフルをやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで/HOMEボタンを押したままにして、メニューから♫(All Songs)を選び、►IIボタンを押して曲を再生してください。

ランダムに選ばれたアーティストと近いジャンルの曲をシャッフル再生する(Artist Link Shuffle)

ランダムに選ばれたアーティストと近いジャンルの曲を検索し(アーティストリンク)、検索した曲を順不同に再生します。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **⏮/⏭ボタンで (Intelligent Shuffle)を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択画面が表示されます。

3. **⏮/⏭ボタンで「Artist Link Shuffle」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   アーティストがランダムに選ばれ、そのアーティストと近いジャンルの曲がシャッフルされ、再生が始まります。

ヒント

- /HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、⏮(⏭)ボタンを押すと、アーティストがランダムに選び直され、そのアーティストと近いジャンルの曲が再び最初からシャッフル再生されます。
- インテリジェントシャッフルをやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで/HOMEボタンを押したままにして、メニューから♫(All Songs)を選び、►IIボタンを押して曲を再生してください。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

同じ発売年の曲をシャッフル再生する（Time Machine Shuffle）

発売年がランダムに選ばれ、その年に発売されたすべての曲を順不同に再生します。

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2 ⏮/⏭ボタンで （Intelligent Shuffle）を選び、►ΙΙボタンを押して決定する。

インテリジェントシャッフルモード選択画面が表示されます。

3 ⏮/⏭ボタンで「Time Machine Shuffle」を選び、►ΙΙボタンを押して決定する。

発売年がランダムに選ばれ、その年にリリースされた曲がシャッフルされ、再生が始まります。

ヒント

- /HOMEボタンを押し、フォルダー操作モードにして、⏮（⏭）ボタンを押すと、発売年がランダムに選び直され、その年にリリースされた曲が再び最初からシャッフル再生されます。
- インテリジェントシャッフルをやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにして、メニューから♫（All Songs）を選び、►ΙΙボタンを押して曲を再生してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

時間を設定してシャッフル再生する（Sports Shuffle）

本機に転送したすべての曲からランダムに選ばれた曲を、設定した時間内で順不同に再生します。設定できる時間は、1分～99分間です。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **◀◀/▶▶ボタンで （Intelligent Shuffle）を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   インテリジェントシャッフルモード選択画面が表示されます。

3. **◀◀/▶▶ボタンで「Sports Shuffle」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   再生時間設定画面が表示されます。

4. **◀◀/▶▶ボタンで再生時間を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだ再生時間が表示されます。そして、本機に転送したすべての曲の中から曲がランダムに選ばれて、再生が始まります。
   再生中は、画面に再生経過が表示されます。設定した時間が過ぎると、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

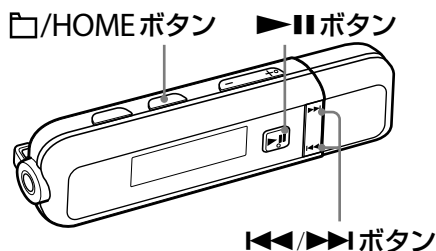
ヒント

- 設定時間が経過し再生が一時停止した後、再度▶IIボタンを押し再生を始めると、設定時間内で再びシャッフル再生されます。
- インテリジェントシャッフルをやめて曲を再生するには、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにして、メニューから （All Songs）を選び、▶IIボタンを押して曲を再生してください。

目次
メニュー
索引

聞きたい曲を探す（Search）

曲名やアーティスト名、アルバム名、ジャンル名などから聞きたい曲を探せます。

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

曲名から探す（Song）

曲一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。
曲名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **I◄◄/►►Iボタンで （Search）を選び、►IIボタンを押して決定する。**

3. **I◄◄/►►Iボタンで「Song>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   曲一覧が表示されます。

4. **I◄◄/►►Iボタンで曲を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

ヒント

- （Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アーティストから探す（Artist）

アーティスト一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。
アーティスト名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **⏮/⏭ボタンで（Search）を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

3. **⏮/⏭ボタンで「Artist>」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   アーティスト一覧が表示されます。

4. **⏮/⏭ボタンでアーティストを選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

5. **⏮/⏭ボタンでアルバムを選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

6. **⏮/⏭ボタンで曲を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

ヒント

- （Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。
- アーティスト名の頭文字が、「The（スペース）」、「The・」、「ザ・」、「ジ・」の場合、これらの文字を省略して並び換えます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アルバムから探す（Album）

アルバム一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。
アルバム名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2 ⏮/⏭ボタンで （Search）を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンで「Album>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。
アルバム一覧が表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンでアルバムを選び、▶⏸ボタンを押して決定する。
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

5 ⏮/⏭ボタンで曲を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。
選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

ヒント

- （Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ジャンルから探す（Genre）

1 ホームメニューが表示されるまで □/HOMEボタンを押したままにする。

2 ⏮/⏭ボタンで 🔍（Search）を選び、►IIボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンで「Genre>」を選び、►IIボタンを押して決定する。
ジャンルの一覧が表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンでジャンルを選び、►IIボタンを押して決定する。
選んだジャンルのアーティスト一覧が表示されます。

5 ⏮/⏭ボタンでアーティストを選び、►IIボタンを押して決定する。
選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

6 ⏮/⏭ボタンでアルバムを選び、►IIボタンを押して決定する。
選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

7 ⏮/⏭ボタンで曲を選び、►IIボタンを押して決定する。
選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

ヒント
- 🔍（Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の発売年から探す（Release Year）

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **I◀◀/▶▶Iボタンで (Search)を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

3. **I◀◀/▶▶Iボタンで「Release Year>」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   発売年の一覧が表示されます。

4. **I◀◀/▶▶Iボタンで発売年を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだ発売年のアーティスト一覧が表示されます。

5. **I◀◀/▶▶Iボタンでアーティストを選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだアーティストの曲一覧が表示されます。

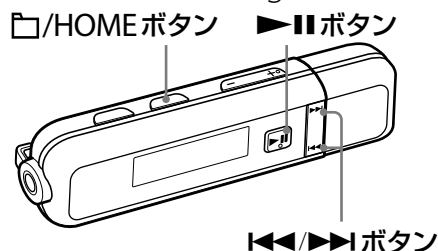
6. **I◀◀/▶▶Iボタンで曲を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

ヒント

- (Search)を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

目次
メニュー
索引

ジャケット写真から聞きたいアルバムを探す（Jacket Search）

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、アルバムのジャケット写真から聞きたい曲を探すことができます。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

ご注意

- （Jacket Search）で曲を探した場合、曲の並び順は必ずアルバム名順になります。
- アルバムにジャケット写真が登録されていない場合は、本機内蔵の決まった画像が表示されます。
- プレイリストや曲に登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。
- ♫（All Songs）で曲を再生中にジャケットサーチを行うと、聞いていた曲の再生が止まります。
- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

---

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

---

2 |◄◄/►►|ボタンで （Jacket Search）を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。

登録されているジャケット一覧が表示されます。このときに、選択されているアルバムの最初の曲の試聴再生が始まります。

|◄◄/►►|ボタンを押すと、ジャケット写真を1枚ずつ、送ったり、戻したりできます。

---

3 |◄◄/►►|ボタンでアルバムを選び、►❚❚ボタンを押して決定する。

選んだアルバムのはじめの曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

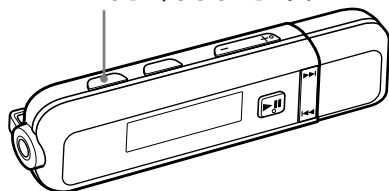
ヒント

- （Jacket Search）を実行しても、再生方法（☞28ページ）は変更されません。

目次
メニュー
索引

再生方法を変える（PLAY MODE）

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1 PLAY MODE/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいプレイモードを選択する。

プレイモード一覧

モードの種類 / アイコン	説明
Normal/表示なし	再生中の曲以降の本機に転送したすべての曲を1回再生します。（お買い上げ時の設定）
Folder（フォルダー）/🗀	曲の並び順（☞ 38ページ）で設定したグループで、再生中の曲が含まれるグループの本機に転送したすべての曲を1回再生します。
Repeat All（全曲リピート）/ ⮎	再生中の曲を再生したあと、本機に転送したすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat Folder（フォルダーリピート）/⮎🗀	曲の並び順（☞ 38ページ）で設定したグループで、再生中の曲が含まれるグループの本機に転送したすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat 1 Song（1曲リピート）/⮎1	再生中の曲を繰り返し再生します。
Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）/ ⮎SHUF	再生中の曲を再生したあと、本機に転送したすべての曲を順不同に繰り返し再生します。
Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）/⮎🗀SHUF	再生中の曲を再生したあと、曲の並び順（☞ 38ページ）で設定したグループで、再生中の曲が含まれるグループの本機に転送したすべての曲を、順不同に繰り返し再生します。

目次
メニュー
索引

音質を設定する（Sound）

あらかじめ2種類の音質設定を記憶させることができ、再生中または一時停止中にPLAY MODE/SOUNDボタンで切り換えることができます。
イコライザの項目を選ぶと、音楽のジャンルなどに合わせて音質を設定できます。
クリアベースを設定すると、低音域の歪（ひずみ）を抑えたクリアな音質になります。ボリュームを上げたときやイコライザで低音を強調したときに有効です。

音質を選ぶ（Equalizer・Clear Bass）

あらかじめ設定してあるEqualizer（イコライザ）、Clear Bass（クリアベース）で音質を選べます。

お買い上げ時の設定

音質 （表示）	Sound1 （♪ 1）	Sound2 （♪ 2）	Sound OFF （表示なし）
Equalizer	EQ Custom (0, 0, 0, 0, 0)	EQ Custom (0, 0, 0, 0, 0)	Off
Clear Bass（低音）	＋1	＋3	0

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

❶ **PLAY MODE/SOUNDボタンを押したままにする。**

ボタンを押すごとに音質設定が以下のように変わります。

♪1→♪2 → 表示なし（Sound OFF）

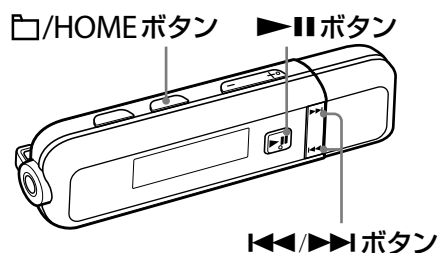
通常の音質設定に戻すには

「表示なし（Sound OFF）」を選びます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音質を変える（Equalizer）

Sound1またはSound2の音質を、好みの音質にそれぞれ設定できます。

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1. **ホームメニューが表示されるまで/HOMEボタンを押したままにする。**
2. **I◄◄/►►Iボタンで（Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
3. **I◄◄/►►Iボタンで「Sound>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
4. **I◄◄/►►Iボタンで「Equalizer>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
5. **I◄◄/►►Iボタンで「Sound1」または「Sound2」の下に表示されている「└Edit>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   イコライザ項目一覧が表示されます。
6. **I◄◄/►►Iボタンで好きなイコライザ項目を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   イコライザの各項目内容について詳しくは、☞31ページをご覧ください。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

イコライザ項目一覧

設定項目	説明
EQ Heavy	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
EQ Pop	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
EQ Jazz	メリハリのある低域と高域を強調した音質になります。
EQ Unique	小さな音でも比較的聞き取りやすいように低域と高域を強調した音質になります。
EQ Custom	自分で設定した値になります。設定方法は☞32ページをご覧ください。（お買い上げ時の設定）

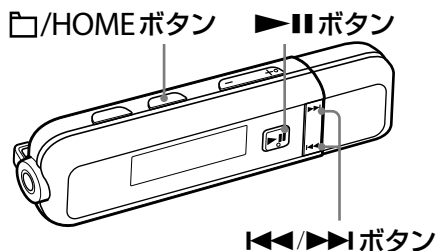
ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「EQ Custom」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

EQ Customの値を設定する

表示部を見ながら、「Clear Bass（低音）」と5音域の「Equalizer」の値を設定し、「Sound 1」または「Sound 2」に「EQ Custom」としてあらかじめ登録できます。

ご注意

- Settingsメニューから「Equalizer」で「EQ Custom」の値を設定すると、音質設定が「EQ Custom」になります。
- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**
2. **I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
3. **I◄◄/►►Iボタンで「Sound>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
4. **I◄◄/►►Iボタンで「Equalizer>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
5. **I◄◄/►►Iボタンで「Sound 1」または「Sound 2」の下に表示されている「└Edit>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   イコライザ項目一覧が表示されます。
6. **I◄◄/►►Iボタンで「EQ Custom」の下に表示されている「└Edit>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   「Clear Bass」の値のスライダーがハイライト表示されます。
   クリアベースは4段階の設定ができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❼ ⏮/⏭ボタンでClear Bassの値を設定し、⏯ボタンを押して決定する。
「Equalizer」の値のスライダーがハイライト表示されます。
イコライザは7段階の設定ができます。

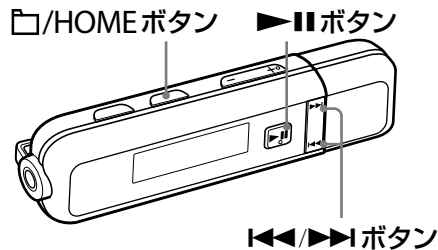
❽ ⏮/⏭ボタンで「Equalizer」の値を設定し、⏯ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

よりステレオ感を強調した音で聞く（Clear Stereo）

ヘッドホンの左右から出る音を、デジタル処理によりくっきりと区別して再生します。

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2 I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。

3 I◄◄/►►Iボタンで「Clear Stereo>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

4 I◄◄/►►Iボタンで設定を選び、►IIボタンを押して決定する。

- ON-Short cord：ヘッドホンの左右から出る音を、くっきりと区別して再生します。ヘッドホン延長コードを使用しない時に最適なモードです。（お買い上げ時の設定）
- ON-Long cord：ヘッドホンの左右から出る音を、くっきりと区別して再生します。ヘッドホン延長コード使用時に最適なモードです。
- OFF：クリアステレオ機能を無効にし、通常の音で再生します。

次のページにつづく ⇩

1階層上のメニューに戻るには

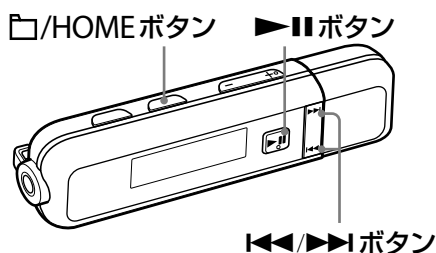
/HOMEボタンを押します。

ご注意

- クリアステレオ機能は付属のヘッドホンで効果が最適になるように設定されています。ほかのヘッドホンではクリアステレオ機能の効果が感じられないことがあります。その場合は「OFF」にしてください。

目次
メニュー
索引

音量を揃えて再生する（Dynamic Normalizer）

曲同士の音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりするのを避けられます。

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1 **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2 **I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**

3 **I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

4 **I◄◄/►►Iボタンで「Dynamic Normalizer>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 ⏮/⏭ボタンで設定を選び、⏯ボタンを押して決定する。

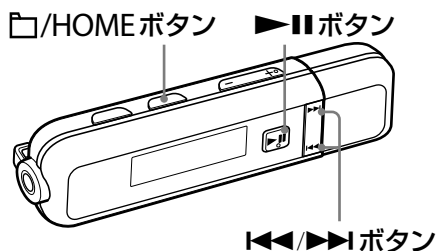
- D. Normalizer ON：曲どうしの音量レベルの差が少なくなります。
- D. Normalizer OFF：曲を取り込んだときの音量レベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

曲の並び順を変更する（Sort）

曲の並び順を「アルバム名順」、「アーティストごとのアルバム名順」、「アーティスト名順」、「ジャンル名順」、「曲の発売年順」から設定できます。

ご注意

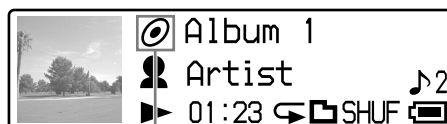
- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **I◄◄/►►I ボタンで （Settings）を選び、►II ボタンを押して決定する。**

3. **I◄◄/►►I ボタンで「Sort>」を選び、►II ボタンを押して決定する。**

4. **I◄◄/►►I ボタンで曲の並び順（☞39ページ）を選び、►II ボタンを押して決定する。**

   /HOMEボタンを押してフォルダー操作モードにすると、曲の並び順がアイコンで表示されます。

曲の並び順表示

1階層上のメニューに戻るには

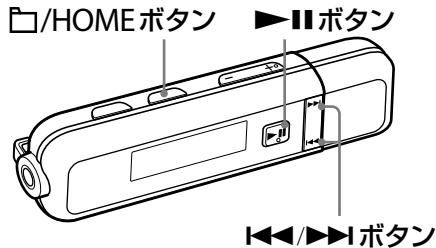
/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく

曲の並び順一覧

設定項目 / アイコン	説明
Sort Album(アルバム名順)/	曲がアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。(お買い上げ時の設定)
Sort Artist/Album(アーティストごとのアルバム名順)/	曲がアーティストごとのアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。
Sort Artist(アーティスト名順)/	曲がアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、アルバムごとの曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アーティスト単位での頭出しになります。
Sort Genre(ジャンル名順)/	曲がジャンルごとのアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、アルバム名順に並びます。また同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、ジャンル単位での頭出しになります。
Sort Release Year(曲の発売年順)/	曲が曲の発売年ごとのアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、曲名順に並びます。 フォルダー操作モードでは、曲の発売年単位での頭出しになります。

表示画面を切り換える（Display Mode）

曲の再生中または一時停止中に表示される画面を、お好みに応じて切り換えることができます。

ご注意

- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。
2. I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。
3. I◄◄/►►Iボタンで「Display Mode>」を選び、►IIボタンを押して決定する。
4. I◄◄/►►Iボタンで表示画面（☞41ページ）を選び、►IIボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示画面一覧

- Basic：基本表示（お買い上げ時の設定）
- Property：曲属性表示

  現在の再生モード、現在のグループ*番号／再生範囲の総グループ*数、現在の曲番号／再生範囲の総曲数、〈L R〉（Clear Stereoアイコン、☞34ページ）、コーデック（音楽ファイル形式）、ビットレートが表示されます。

  * 曲の並び順（☞38ページ）で設定したグループによって変化します。

- Clock：時刻表示

  年月日、現在時刻が表示されます。日時の設定方法については、「現在時刻を設定する（Set Date-Time）」（☞48ページ）をご覧ください。

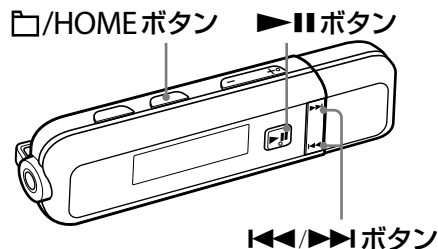
ヒント

- 画面を常に表示させたい場合は、省電力設定（☞55ページ）を「Save OFF」に設定してください。

ご注意

- ジャケット写真の表示を「Jacket Mode ON」にして（☞42ページ）、ジャケット写真が表示されるのは、「Basic」の画面のみです。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- クリアステレオ機能（☞34ページ）を「OFF」に設定している場合、「Property」画面にアイコンは表示されません。
- FMラジオ放送の受信中と、インテリジェントシャッフル（☞18ページ）中は、Display Modeで設定した表示画面には切り換わりません。

ジャケット写真の表示/非表示を設定する（Jacket Mode）

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、表示画面にアルバムのジャケット写真を表示させることができます。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

ご注意

- アルバムにジャケット写真が登録されていない場合は、本機内蔵の決まった画像が表示されます。
- プレイリストや曲に登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。
- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1 **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2 **I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**

3 **I◄◄/►►Iボタンで「Jacket Mode>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

4 **I◄◄/►►Iボタンで設定を選び、►IIボタンを押して決定する。**

- Jacket Mode ON：表示画面にアルバムのジャケット写真が表示されます。（お買い上げ時の設定）
- Jacket Mode OFF：表示画面にアルバムのジャケット写真は表示されません。

表示については、☞12ページをご覧ください。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

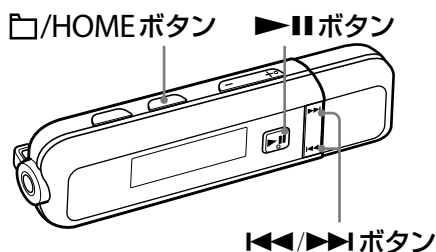
音量調節の方法を設定する（Volume Mode）

音量調節には2つのモードがあります。

Manual Volume（マニュアルボリューム）（お買い上げ時の設定）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

Preset Volume（プリセットボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、あらかじめ設定しておいたLow、Mid、Highの3段階から音量を選択できます。

マニュアルボリュームに設定する（Manual Volume）

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。
2. ◄◄/►►ボタンで （Settings）を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。
3. ◄◄/►►ボタンで「Advanced Settings>」を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。
4. ◄◄/►►ボタンで「Volume Mode>」を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 ⏮/⏭ボタンで「Manual Volume」を選び、▶❚❚ボタンを押して決定する。

この設定により、VOL(ボリューム)+/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

プリセットボリュームに設定する(Preset Volume)

1 ホームメニューが表示されるまで🗀/HOMEボタンを押したままにする。

2 ⏮/⏭ボタンで(Settings)を選び、▶❚❚ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンで「Advanced Settings>」を選び、▶❚❚ボタンを押して決定する。

4 ⏮/⏭ボタンで「Volume Mode>」を選び、▶❚❚ボタンを押して決定する。

5 ⏮/⏭ボタンで「Preset Volume」を選び、▶❚❚ボタンを押して決定する。

この設定により、VOL(ボリューム)+/－ボタンを押すごとに、Low、Mid、Highから音量を選択できます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

ご注意

- AVLS(☞46ページ)が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。AVLSを解除(AVLS OFF)すると設定した値の音量になります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

Preset Volumeの値を設定する

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2. ⏮/⏭ボタンで (Settings)を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。

3. ⏮/⏭ボタンで「Advanced Settings>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。

4. ⏮/⏭ボタンで「Volume Mode>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。

5. ⏮/⏭ボタンで「Preset Volume」の下に表示されている「└Edit>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。
   「Low」の値が選択された状態になります。

6. ⏮/⏭ボタンでLow、Mid、Highの各値を設定し、▶⏸ボタンを押して決定する。
   この設定により、VOL(ボリューム)+/−ボタンを押すごとに、設定した値のLow、Mid、Highから音量を選択できます。

1階層上のメニューに戻るには

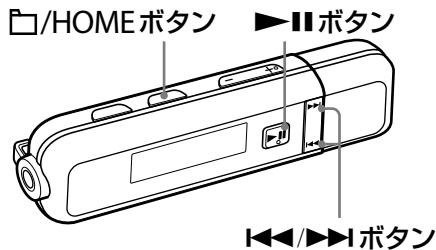
/HOMEボタンを押します。

ご注意

- AVLS(☞46ページ)が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。AVLSを解除(AVLS OFF)すると設定した値の音量になります。

目次
メニュー
索引

音もれを抑える（音量制限-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。
お買い上げ時は、「AVLS OFF」に設定されています。

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2. I◄◄/►►Iボタンで (Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。

3. I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

4. I◄◄/►►Iボタンで「AVLS>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

5. I◄◄/►►Iボタンで「AVLS ON」を選び、►IIボタンを押して決定する。
   この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「OFF」にするには

手順5で「AVLS OFF」を選び、►IIボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

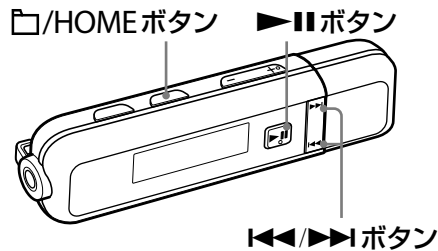
/HOMEボタンを押します。

ヒント

- AVLSが「AVLS ON」に設定されているときは、VOL（ボリューム）+/－ボタンを押したときに「AVLS」と表示されます。

目次
メニュー
索引

ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。
お買い上げ時は、「Beep ON」に設定されています。

❶ ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

❷ I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。

❸ I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

❹ I◄◄/►►Iボタンで「Beep>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

❺ I◄◄/►►Iボタンで「Beep OFF」を選び、►IIボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

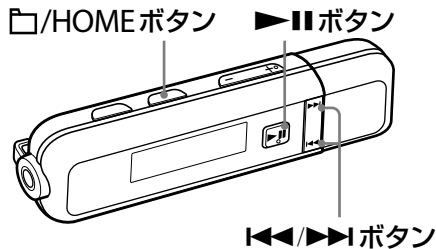
手順❺で「Beep ON」を選び、►IIボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

現在時刻を設定する（Set Date-Time）

現在時刻を手動またはパソコンなどの接続機器の時刻に合わせて設定できます。

現在時刻の設定方法を選ぶ

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**
2. **I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
3. **I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
4. **I◄◄/►►Iボタンで「Date-Time>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
5. **I◄◄/►►Iボタンで「Set Date-Time>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
6. **I◄◄/►►Iボタンで設定方法を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   - Date-Time Automatic：次回、SonicStageを起動させて、本機とパソコンを接続すると、本機の時刻がパソコンの時刻に同期して設定されます。（お買い上げ時の設定）
   - Date-Time Manual：現在時刻を手動で設定します。詳しくは、「現在時刻を手動で設定する」（☞50ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

時計を表示させるには

以下のどちらの方法でも現在時刻が表示されます。

- 「表示画面を切り換える（Display Mode）」（☞40ページ）で「Clock」に設定する。
- ホールド中に他のボタンを押す。

ヒント

- 日付の表示形式は、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選べます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは「日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）」（☞51ページ）、または「時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）」（☞52ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 現在時刻が設定されていない場合は、画面表示を「Clock」（☞41ページ）にすると、「--」が表示されます。また、ホールド中に他のボタンを押しても時計表示はされません。
- 現在時刻は、1ヶ月で最大60秒の誤差を生じる場合があります。現在時刻の表示が正確ではない場合は、設定し直してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

現在時刻を手動で設定する

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **⏮/⏭ボタンで (Settings)を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**

3. **⏮/⏭ボタンで「Advanced Settings>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**

4. **⏮/⏭ボタンで「Date-Time>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**

5. **⏮/⏭ボタンで「Set Date-Time>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**

6. **⏮/⏭ボタンで「Date-Time Manual>」を選び、▶⏸ボタンを押して決定する。**
   「年」の値が選択された状態になります。

7. **⏮/⏭ボタンで「年」の数字を合わせ、▶⏸ボタンを押して決定する。**
   「月」の値が選択された状態になります。

8. **手順7で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力し、▶⏸ボタンを押して決定する。**

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

ご注意

- 本機の時計は1か月で最大120秒(25℃時)の誤差が生じる場合があります。「Date-Time Manual」に設定して時刻に誤差が生じた場合は、手動で時刻を修正してください。
  また、「Date-Time Automatic」に設定して使用すると、SonicStageを起動させてから本機とパソコンを接続すれば、本機の時刻がパソコンの時刻と同期して設定されます。「Date-Time Automatic」に設定して使用されることをおすすめします。

目次
メニュー
索引

日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）

現在時刻（☞48ページ）に表示される日付の表示形式を、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選べます。

1. **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2. **I◄◄/►►Iボタンで (Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。**

3. **I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

4. **I◄◄/►►Iボタンで「Date-Time>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

5. **I◄◄/►►Iボタンで「Date Disp Type>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   日付表示形式設定画面が表示されます。

6. **I◄◄/►►Iボタンで設定を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   設定値は、以下の3種類から選べます。
   - Date yy/mm/dd：日付が「年/月/日」の形式で表示されます。（お買い上げ時の設定）
   - Date dd/mm/yy：日付が「日/月/年」の形式で表示されます。
   - Date mm/dd/yy：日付が「月/日/年」の形式で表示されます。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）

現在時刻（☞48ページ）の表示形式を「24時間表示」または「12時間表示」から選べます。

1 ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2 I◄◄/►►Iボタンで (Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。

3 I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

4 I◄◄/►►Iボタンで「Date-Time>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

5 I◄◄/►►Iボタンで「Time Disp Type>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

時刻表示形式設定画面が表示されます。

6 I◄◄/►►Iボタンで設定を選び、►IIボタンを押して決定する。

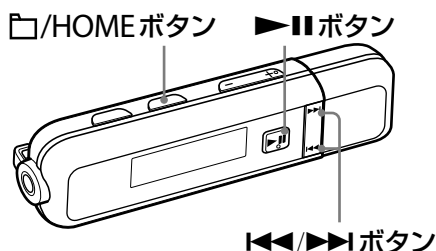
- Time 24h：現在時刻の表示形式を24時間表示にします。（お買い上げ時の設定）
- Time 12h：現在時刻の表示形式を12時間表示にします。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

USB接続方法を変える（USB Bus Powered）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給（USB Bus Power）が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」に設定すると、このような現象が改善する場合があります。

ご注意

- USB接続中は設定できません。

1 **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

2 **I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**

3 **I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

4 **I◄◄/►►Iボタンで「USB Bus Powered>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

5 **I◄◄/►►Iボタンで設定を選び、►IIボタンを押して決定する。**
- High-Power 500mA：パソコンからの電力供給を500ｍAにします。（お買い上げ時の設定）
- Low-Power 100mA：パソコンからの電力供給を100ｍAにします。

次のページにつづく

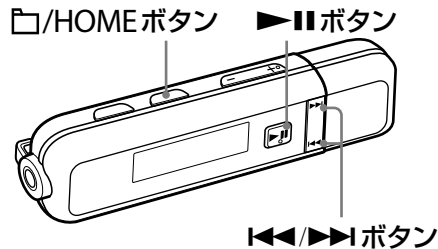
1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

ヒント

- 本機とノートパソコンを接続するときは、ノートパソコンを電源につなぐことをおすすめします。
- USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

省電力画面に設定する（Power Save Mode）

本機は一定時間（約15秒）操作しないと、省電力画面に切り換わります。
省電力画面の設定は変更できます。

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。
2. I◄◄/►►Iボタンで (Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。
3. I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。
4. I◄◄/►►Iボタンで「Power Save Mode>」を選び、►IIボタンを押して決定する。
5. I◄◄/►►Iボタンで省電力設定を選び、►IIボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

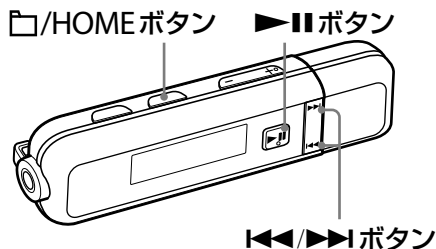
/HOMEボタンを押します。

省電力設定一覧

設定項目	説明
Save ON Normal	約15秒間操作がない場合、省電力画面に切り換わります。（お買い上げ時の設定）
Save ON Super	約15秒間操作がない場合、画面に何も表示されなくなります。電池の消耗を最も抑えることができます。
Save OFF	再生中やFM放送の受信中は、アイコンや文字が常に画面に表示されます。

目次
メニュー
索引

画面のコントラストを設定する(Contrast)

表示画面のコントラストを15段階で設定できます。お買い上げ時は0に設定されています。

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2. I◄◄/►►Iボタンで (Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。

3. I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

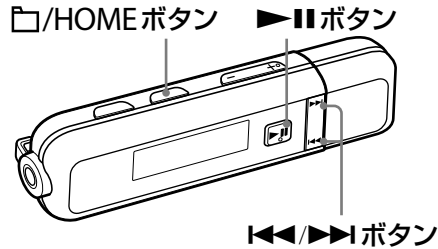
4. I◄◄/►►Iボタンで「Contrast>」を選び、►IIボタンを押して決定する。
   コントラスト設定画面が表示されます。

5. I◄◄/►►Iボタンでコントラストを調整し、►IIボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

画面の明るさを設定する（Brightness）

表示画面の明るさを7段階で設定できます。お買い上げ時は4に設定されています。

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。
2. ⏮/⏭ボタンで （Settings）を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンで「Advanced Settings>」を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンで「Brightness>」を選び、►❚❚ボタンを押して決定する。
5. ⏮/⏭ボタンで明るさを調整し、►❚❚ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

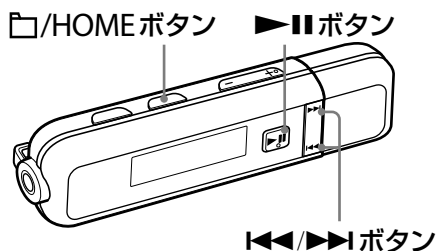
/HOMEボタンを押します。

ご注意

- 設定できる画面の明るさは、操作中の画面の明るさのみです。操作をしていないときの画面の明るさは変更できません。

目次
メニュー
索引

本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアル番号、ファームウェアのバージョンを表示することができます。

1. ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

2. I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。

3. I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

4. I◄◄/►►Iボタンで「Information>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

   I◄◄/►►Iボタンを押すと以下の情報がスクロール表示されます。

   1： 機種名
   2： メモリー容量
   3： シリアル番号
   4： ファームウェアのバージョン

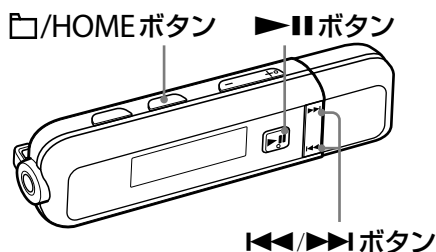
1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

お買い上げ時の設定に戻す（Reset All Settings）

Settingsメニューで設定した内容をお買い上げ時の状態に戻せます。
お買い上げ時の状態に戻しても、保存しているデータは削除されません。

ご注意

- この操作は、再生一時停止中にのみ実行できます。
- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1. **再生一時停止中に、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**
2. **I◄◄/►►Iボタンで （Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
3. **I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
4. **I◄◄/►►Iボタンで「Initialize>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
5. **I◄◄/►►Iボタンで「Reset All Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

❻ **⏮/⏭ボタンで「OK」を選び、▶❚❚ボタンを押して決定する。**
「COMPELTE」と表示されると本機がお買い上げ時の設定に戻ります。そのあと、「ACCESS」と表示され、再生開始位置はAll Songs（☞13ページ）の先頭の曲になります。

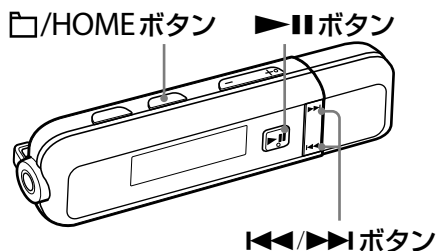
途中で操作をやめるには
手順❻で「Cancel」を選び、▶❚❚ボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには
🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）できます。
初期化すると、音楽データや登録したジャケット写真などもすべて消去されます。初期化する前に内容を確認し、必要なデータはSonicStageに取り込むか、パソコンのハードディスク内に保存してください。

ご注意

- この操作は、再生一時停止中にのみ実行できます。
- 電池の残量が少ない場合は初期化できません。充電してから実行してください。
- FMラジオの使用中や、使用直後はこの機能は使えません。ホームメニューから♫（All Songs）を選んでから、操作してください。

1. **再生一時停止中に、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**
2. **I◄◄/►►Iボタンで（Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
3. **I◄◄/►►Iボタンで「Advanced Settings>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
4. **I◄◄/►►Iボタンで「Initialize>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
5. **I◄◄/►►Iボタンで「Format>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❻ **⏮/⏭ボタンで「OK」を選び、⏯ボタンを押して決定する。**
「FORMATTING...」が表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「COMPLETE」と表示されます。

途中で操作をやめるには
手順❻で「Cancel」を選び、⏯ボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには
🗀/HOMEボタンを押します。

ご注意

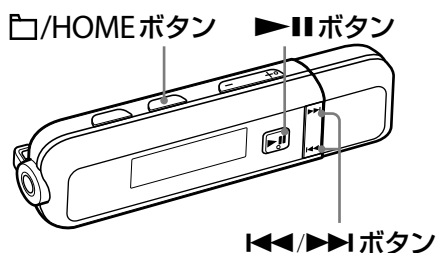
- Windowsのエクスプローラで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。誤ってWindowsのエクスプローラで初期化した場合は、本機で初期化し直してください。

目次
メニュー
索引

FMラジオ放送を楽しむ

本機のFMラジオでは、FM放送とテレビ放送*（1 ～ 3チャンネル）を聞くことができます。
ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

1 FMラジオ放送に切り換える

❶ **ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

❷ **I◄◄/►►Iボタンで （FM）を選び、►IIボタンを押して決定する。**
FMラジオ画面が表示されます。

FMラジオ画面*

* この画面は、お使いのものと異なる場合があります。

次のページにつづく ⇩

FMラジオをやめてオーディオプレーヤーに戻るには

ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにし、メニュー画面から (All Songs)、 (Playlist Select) または (Intelligent Shuffle) を選び、►IIボタンを押して曲を再生してください。
プレイリストがないときは (All Songs) を選んでください。

FMラジオ放送の音声を一時的に消すには

►IIボタンを押すとFMラジオ放送の音声が出なくなります。数秒後に再生待機状態になり、画面が非表示になります。再び►IIボタンを押すと、FMラジオ放送の音声が出るようになります。

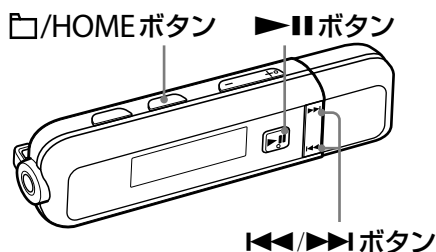
ご注意

- 再生待機状態中に I◄◄/►►I ボタンを押すと、前の（次の）プリセット番号または周波数が選択されますが、音声は出ません。また、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押した場合も音声は出ません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

2 自動で放送局を登録する（FM Auto Preset）

設定メニューから「FM Auto Preset」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセットに登録できます（最大30局まで）。はじめてFMラジオをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときには、「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

ご注意

- 「FM Auto Preset」を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

---

1. **FMラジオ画面を表示中に、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

---

2. **I◄◄/►►Iボタンで (Settings) を選び、►IIボタンを押して決定する。**

---

3. **I◄◄/►►Iボタンで「FM Auto Preset>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

---

4. **I◄◄/►►Iボタンで「OK」を選び、►IIボタンを押して決定する。**
   受信できる放送局が低い周波数から順番で登録されます。
   登録が終了すると「COMPLETE」と表示され、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

自動で放送局を登録するのをやめるには

手順❹で「Cancel」を選び、►II ボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

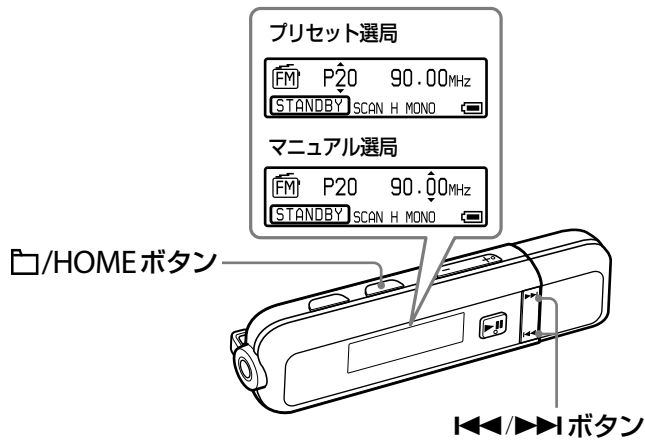
多くの不要な放送局を受信してしまうときは

普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞70ページ）を「Scan Sens Low」に設定してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

3 選局する

聞きたい放送局を選ぶ方法には、プリセット選局とマニュアル選局の2つのモードがあります。

/HOMEボタンを押すとプリセット選局モードになります。
マニュアル選局モードに戻すときは、もう1度 /HOMEボタンを押します。

- **プリセット選局モード**

  プリセット選局モードでは、登録されているプリセット番号で放送局を選ぶことができます。

- **マニュアル選局モード**

  マニュアル選局モードでは、周波数で放送局を選ぶことができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

プリセット選局

プリセット番号の上下に ▲ と ▼ が付いて表示されます。

こんなときは	操作
登録されている前のプリセット番号を選ぶ	⏮ を短く押す
登録されている次のプリセット番号を選ぶ	⏭ を短く押す

ご注意

- 放送局を登録していない場合は、プリセット選局することができません。「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録してください（☞65ページ）。

マニュアル選局

周波数の上下に ▲ と ▼ が付いて表示されます。

こんなときは	操作
前の周波数を選ぶ	⏮ ボタンを短く押す
次の周波数を選ぶ	⏭ ボタンを短く押す
受信できる放送局（前）を選ぶ*	⏮ ボタンを押したままにする
受信できる放送局（次）を選ぶ*	⏭ ボタンを押したままにする

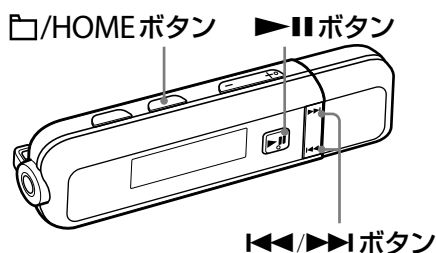
* ⏮/⏭ ボタンを押したままの状態にしておくと、前の（次の）放送局を探します。受信できる放送局を見つけると受信します。
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞70ページ）を「Scan Sens Low」に設定してください。
再生待機状態中に⏮/⏭ボタンを押すと、周波数が減少（増加）しますが、前の（次の）放送局は見つけられず、音声も出ません。

よりよく受信するには

- ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。

目次
メニュー
索引

手動で放送局を登録する

「FM Auto Preset」（☞65ページ）で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録することができます。

❶ マニュアル選局で、登録したい周波数を選ぶ（☞67ページ）。

❷ ►IIボタンを押したままにする。

手順❶で選んだ周波数がプリセット登録され、周波数の左側にプリセット番号が表示されます。

ヒント

- プリセットには、最大30局（P01 ～ P30）まで登録できます。

ご注意

- プリセット番号は、常に低い周波数から順番に並べ変えられます。

登録した放送局を削除するには

❶ 削除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。

❷ ►IIボタンを押し続ける。

❸ I◄◄/►►Iボタンで「OK」を選び、►IIボタンを押して決定する。

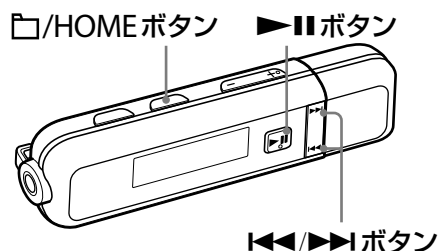
登録していたプリセットが削除され、ひとつ後のプリセットが表示されます。

登録した放送局を削除するのをやめるには

手順❸で「Cancel」を選び、►IIボタンを押して決定します。

目次
メニュー
索引

受信感度を変更する（Scan Sens）

「FM Auto Preset」（☞65ページ）や「マニュアル選局」（☞67ページ）を行うときに、受信感度が強すぎて、多くの不要な放送局を受信してしまうことがあります。このようなときは、受信感度を「Scan Sens Low」に設定してください。お買い上げ時は、「Scan Sens High」に設定されています。

❶ FMラジオ画面を表示中に、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。

❷ I◄◄/►►Iボタンで（Settings）を選び、►IIボタンを押して決定する。

❸ I◄◄/►►Iボタンで「Scan Sens>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

❹ I◄◄/►►Iボタンで「Scan Sens Low」を選び、►IIボタンを押して決定する。

受信感度を元に戻すには

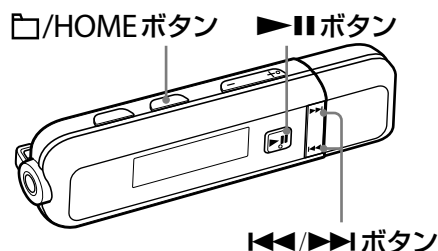
手順❹で「Scan Sens High」を選び、►IIボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

モノラル/ステレオを切り換える（Mono/Auto）

FMラジオ放送を受信中に雑音が多いときは、モノラル「Mono」に設定してください。オート「Auto」に設定している場合は、受信時の状態によって自動的にステレオかモノラルに設定されます。
お買い上げ時は、「Auto」に設定されています。

❶ **FMラジオ画面を表示中に、ホームメニューが表示されるまで /HOMEボタンを押したままにする。**

❷ **I◄◄/►►Iボタンで (Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。**

❸ **I◄◄/►►Iボタンで「Mono/Auto>」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

❹ **I◄◄/►►Iボタンで「Mono」を選び、►IIボタンを押して決定する。**

設定を元に戻すには

手順❹で「Auto」を選び、►IIボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

本機の充電について

本機は起動しているパソコンと接続することによって、充電されます

電池残量表示が Full になったら、充電完了です（充電時間：約60分*）。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が Full になるまで充電することをおすすめします。

* USB接続方法（☞53ページ）が「High-Power 500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示部（☞12ページ）の電池残量表示でお知らせします。電池の持続時間（連続再生時）については、☞102ページをご覧ください。

目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、操作できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 電池を使いきった状態から充電可能回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「DATA ACCESS」と本機の表示窓に表示されます。「DATA ACCESS」と表示されている間は、本機をパソコンから抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機の操作はできません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。
- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や、電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

再生待機状態にする

►II ボタンを押して再生やFMラジオ放送の受信を一時停止すると、数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。
再生待機状態では、電池の消耗はほとんどありません。

画面表示を消す

一定時間（約15秒）操作がないときに画面表示を消す設定にすると、電池の消耗を抑えられます。
設定方法は、「省電力画面に設定する（Power Save Mode）」（☞55ページ）をご覧ください。

画面の明るさを設定する

「Brightness」で輝度を下げれば（☞57ページ）、電池が長持ちします。

音質の設定をオフにする

音質と音量の設定（「Sound」（☞29ページ）、「Clear Stereo」（☞34ページ）、「Dynamic Normalizer」（☞36ページ）を「OFF」に設定すれば、電池が長持ちします。

パソコン接続時のご注意

USB接続時にパソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入ると、充電されないため電池が消耗します。

音楽ファイル形式やビットレートを変える

曲のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時）*が変わります。
ATRAC 132kbpsは約30時間、WMA 128kbpsは約24時間再生できます。詳しくは電池持続時間（☞102ページ）をご覧ください。なお、使用状況によって時間は変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

目次
メニュー
索引

音楽ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3（エムピースリー）：MPEG（エムペグ）-1 Audio（オーディオ） Layer（レイヤー）3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA（ダブリューエムエー）：Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Audio（オーディオ）の略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC（アトラック）：ATRAC（Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング））は、「ATRAC3」、「ATRAC3plus」の総称です。高音質と高圧縮を両立させた「ATRAC3」では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、「ATRAC3plus」では、約20分の1に圧縮できます。

AAC（エーエーシー）：Advanced（アドバンスト） Audio（オーディオ） Coding（コーディング）の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

リニアPCM（ピーシーエム）：デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。

著作権保護とは

音楽配信サービスなどから購入した音楽ファイルなどでは、著作権者の意向により、データに暗号化のような技術を施すことで、その利用や複製を制限している場合があります。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。
本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞100ページをご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

目次
メニュー
索引

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC形式でSonicStageに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC形式でSonicStageに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、全曲まとめて一度に同じビットレートのATRAC形式で取り込む必要があります。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

SonicStageを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。

このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ご注意

- 曲情報を取得する機能は無償でご利用いただけますが、はじめて曲情報を取得するときは、お使いの環境によって、Gracenoteへの登録が必要な場合があります。表示される画面の指示に従って操作してください。
- ウィルスチェックなどのソフトウェアをお使いの場合は、ファイアウォール機能により曲情報の取得が出来ない場合があります。ファイアウォール機能の設定についてはお使いのソフトウェアの説明書をご覧ください。
- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStageで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- SonicStageでは、取得したアルバム名やアーティスト名、曲名が日本語の場合、読み仮名を判断し50音順で表示します。本機にはこの情報を含めて転送されるため、読み仮名で検索できます。
- アーティストの姓と名の間にスペースがない方が、読み仮名検索の精度が高くなります。取得した曲情報のアーティスト名の姓と名の間にスペースがある場合は、曲情報を編集してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上に「WALKMAN」または「リムーバブル ディスク」として、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、パソコンから本機を抜かないでください。データを転送中にパソコンから本機を抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニュー（☞61ページ）で行ってください。
- 「MUSIC」、「OMGAUDIO」フォルダ内のファイルやフォルダ名を変更したり、ファイルを転送したりしないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行うことができます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

1. **「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページから、アップデートプログラムをダウンロードする。**
2. **本機をパソコンに接続し、アップデートプログラムを起動する。**
3. **アップデートプログラムのメッセージに従ってアップデートを行う。**
   これでファームウェアのアップデートは完了です。

目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

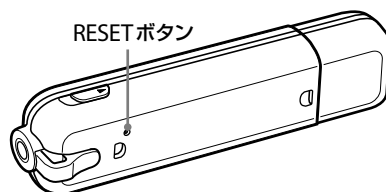
サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

2 パソコンに接続して、充電する。

充電することで問題が解決することがあります。

3 クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。

動作中にRESETボタンを押すと、本機に保存しているデータや設定が消去される場合があります。

4 SonicStageを使用しているときは、SonicStageのヘルプで調べる。

5 「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

6 手順1 ～ 5を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口（☞107ページ）またはお買い上げ店に相談する。

本体の操作

症状	原因／処置
再生音が出ない	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（☞9ページ）。 • ヘッドホンや延長コードがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞10ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 • 曲が入っていない → 「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
再生できない	• 付属のSonicStageを使わずに、パソコンから曲を転送した → SonicStageを使って転送してください。 • 電池が消耗している → 充分に充電してください（☞72ページ）。 → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください。

次のページにつづく ⇩

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
転送したアルバムが、複数になって表示される	• コンピレーションアルバムをSonicStageでパソコンに取り込む場合、複数のアルバムとして取り込まれることがあります。その場合は、SonicStageで一つのアルバムになるように編集してから、本機に転送し直してください。編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。
雑音が入る	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している → 携帯電話などを本機から離して使用してください。 • CDなどから取り込んだ曲が破損している → 本機をパソコンに接続して、雑音の入る曲をSonicStageで削除してください。再度パソコンに曲を取り込み、本機に転送し直してください。曲を取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
ボタン操作に反応しない	• HOLDスイッチが矢印の方向（▷）にスライドしている → HOLDスイッチを矢印と逆の方向にスライドしてください（☞11ページ）。 • スタイルアップ®パネルが正しく取り付けられていない。 → スタイルアップ®パネルを正しく取り付けてください（☞8ページ）。 • 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない、または消耗している → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞72ページ）。 → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞80ページ）。 • 本機はUSB接続中は操作できません。パソコンとの接続をはずして操作してください。
曲を停止できない	• 本機では、再生の停止は一時停止になります。►❚❚ボタンを押すと、❚❚が表示され、再生を一時停止します。
本機が動作しない	• 電池の残量が少ない、または消耗している → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞72ページ）。 → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞80ページ）。
転送した曲が見つからない	• Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した → 本機上で、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞61ページ）。 • 転送中、パソコンから本機が抜けた → 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機上で、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞61ページ）。

次のページにつづく ⇩

本体の操作（つづき）

症状	原因 / 処置
再生音が 大きくならない	• AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください（☞46ページ）。
右チャンネルから 音が出ない または右チャンネルの 音が左右両方のヘッド ホンから聞こえる	• ヘッドホンや延長コードが正しく差し込まれていない → 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞10ページ）。
再生していたら 急に音が止まった	• 電池の残量が少ない、または消耗している → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞72ページ）。
本機で初期化（フォーマット）できない	• 電池の残量が少ないか、充分でない → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞72ページ）。

表示部

症状	原因 / 処置
画面に「□」と 表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
メッセージが出ている	• メッセージ一覧をご覧ください（☞88ページ）。

電源

症状	原因 / 処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している → 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない → Fullが表示されるまで充電してください。 → 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「Low-Power 100mA」になっている場合は、長めに充電してください（☞72ページ）。 • 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞73ページ）。 • 本機を長時間使用していなかった → 何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。 • 電池を充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときは電池が劣化しています → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

電源（つづき）

症状	原因／処置
充電できない	• 本機がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • 5℃～35℃の範囲外の環境で充電している ➔ 5℃～35℃の環境で充電してください。 • パソコンの電源が入っていない ➔ パソコンの電源を入れてください。 • パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入っている ➔ パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
本機の電源が自動的に切れた	• 一時停止状態のままにしていた ➔ いずれかのボタンを押すと電源が入ります。
充電がすぐに終わる	• 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因／処置
インストールできない	• 対応のOS以外のOSを使っている ➔ パソコンの動作環境を確認してください（☞103ページ）。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない ➔ ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない ➔ ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている ➔ Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。また、ユーザー名に全角文字をご使用の場合は、半角英数字のユーザー名で新規のアカウントを作成してください。 • メッセージダイアログがインストール画面の後ろに隠れていて、インストール作業が止まっているように見える場合がある ➔ [Alt] キーを押しながら [Tab] キーを数回押してください。ダイアログが表示されたら、メッセージに従って操作してください。 • 日本語以外のOSを使っている ➔ 日本語OS以外にはインストールできません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage(つづき)

症状	原因/処置
インストールしようとするとパソコンにエラーメッセージが表示される	• パソコンの動作環境を確認してください(☞103ページ)。
付属のCD-ROMを入れても自動的に起動しない	• お使いのパソコンの設定によっては、CD-ROMを入れてもインストーラーが起動しない場合があります。 → WindowsエクスプローラでCD-ROMドライブを右クリックして開き、SetupSS.exeをダブルクリックして実行してください。インストール時のメインメニューが表示されます。
インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStageが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「ウォークマン カスタマーサポート」(http://www.sony.co.jp/walkman-support/)のホームページで調べてください。
SonicStageで一部の機能が制限される	• Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、一部の機能が制限されることがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。
本機をパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB CONNECT」と表示されない	• USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している → USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続するか、専用USB接続補助ケーブル(有償)を使用してください。 • SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上でほかのソフトウェアが起動している → しばらくしてから、本機を接続し直してください。それでも解決しない場合は、本機を抜いてからパソコンを再起動してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因/処置
本機をパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB CONNECT」と表示されない（つづき）	• 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「High-Power 500mA」になっている → USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」にしてください（☞53ページ）。 • ソフトウェアのインストールに失敗している → 付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	• USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している → USBハブを使用していると、認識されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続するか、専用USB接続補助ケーブル（有償）を使用してください。 • 接続しているUSBコネクタに不具合がある可能性があります。パソコンの別のUSBコネクタに接続してみてください。
転送できない	• 静電気等のノイズにより転送が止まることがあります。これは音楽情報を守るためです。 • USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。表示部に「DATA ACCESS」または「USB CONNECT」と表示されているか確認してください。 → 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している → 本機をパソコンに接続して、聞かなくなった曲をSonicStageで削除し、本機の空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。 • SonicStage以外のソフトウェアを使って、CDなどから取り込んだ著作権保護のかかっているWMAファイル、AACファイルはSonicStageへ取り込んでも、フォーマット変換できないため、本機へ転送できません。 • 本機に異常のあるデータが入っている → 必要なデータをSonicStageに戻し、本機を初期化（フォーマット）してください（☞61ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage(つづき)

症状	原因/処置
転送できない(つづき)	● 付属のSonicStageを使っていない → 付属のSonicStageをインストールし、データを転送してください。 ● データが破損している → 本機をパソコンに接続して、破損している曲をSonicStageで削除し、もう一度そのデータを取り込み直してください。パソコンにデータを取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
転送できる曲数が少ない	● 本機の空き容量が不足している → 本機をパソコンに接続して、聞かなくなった曲をSonicStageで削除し、本機の空き容量を増やしてください。 ● 本機に音楽以外のデータが入っている → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。
パソコンに曲を戻せない	● 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んで[×]をクリックして削除してください。 ● 転送元のパソコンで曲を削除した → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	● USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。パソコンのUSBコネクタに直接接続するか、専用USB接続補助ケーブル(有償)を使用してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

FMラジオ

症状	原因/処置
FMラジオ放送がよく聞こえない	• 受信している周波数が適切でない ➔ 放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（☞ 67ページ）。
雑音が多く、音が悪い	• 電波が弱い ➔ 建物や乗り物内では電波が弱い場合があります。窓際に近づくなどして電波の入りやすい場所を選んでください。 • ヘッドホンのコードが伸びていない ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している ➔ 携帯電話などを本機から離して使用してください。

その他

症状	原因/処置
操作時の確認音が鳴らない	• 「Beep」の設定が「Beep OFF」になっている ➔ 「Beep」の設定を「Beep ON」にしてください（☞47ページ）。
本体が温かくなる	• 充電中または充電直後に本体が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。
日付と時刻がリセットされる	• 電池を使いきった状態で放置すると、日付と時刻がリセットされることがありますが、故障ではありません。 ➔ Fullが表示されるまで充電し（☞72ページ）、日付と時刻を設定し直してください（☞48ページ）。
ヘッドホンを抜き差しするとノイズが聞こえる	• ヘッドホンの抜き差しはヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態でヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本体表示部にメッセージが出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	パソコンから本機を抜いたあとや「Reset All Settings」（☞59ページ）を実行したあと、本機をリセット（☞80ページ）したあとに表示される。	エラーではありません。表示が消えるまでお待ちください。
AVLS（点滅）	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください（☞46ページ）。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞91ページ）をご覧ください。
DATA ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中です。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに表示されます。
DRM ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞91ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
EXPIRED	期限/再生回数付きの音楽データを再生しようとしている。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞91ページ)をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞91ページ)をご覧ください。
FORMAT ERROR	パソコンなどを使って、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)した。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞91ページ)をご覧ください。
HOLD	HOLDスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください(☞11ページ)。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください(☞72ページ)。
MEMORY ERROR	内蔵フラッシュメモリーが壊れている。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞91ページ)をご覧ください。 それでも表示されるときは、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
NO DATABASE	音楽データの転送中に、本機とパソコンの接続が切れてしまった。	パソコンにつないでSonicStageを起動するとデータが復活することがあります。復活しない場合は、必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞91ページ)をご覧ください。
NO ITEM	選択した項目の音楽データがない。	付属のSonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
PRESET FULL	プリセットに31局以上登録しようとした。	プリセットは最大30局まで登録できます。不要な放送局を削除してから(☞69ページ)、再度登録してください。
SIMPLE MODE	• SonicStageのインテリジェント機能を無効にして接続し、接続を解除した。 • ネットジュークと本機を接続し、接続を解除した。	エラーではありません。表示が消えるまでお待ちください。 このときは一部使用できない機能があります。
SYSTEM ERROR	ハードウェアが壊れています。	ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
UPDATE ERROR	ファームウェアのアップデートに失敗した。	パソコンに表示される案内に従ってやり直してください。
USB CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「DRM ERROR」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「FORMAT ERROR」、「MEMORY ERROR」、「NO DATABASE」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

1. **本機をパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。**
2. **データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、SonicStageで削除する。**
3. **それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。**
4. **パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（☞61ページ）。**

目次
メニュー
索引

SonicStageをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする。

2 「プログラムの追加と削除」*1をダブルクリックする。

3 一覧から「SonicStage X.X」を選び、「削除」*2をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

*1 Windows Vistaでは「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」
*2 Windows Vistaでは「アンインストールと変更」

ご注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、ほかのソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口（☞107ページ）に相談してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- ヘッドホンを本体からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ（別売り）をつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 寒い場所や暑い場所ではコントラストが変化することがあります。

お手入れ

本体表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。

重要なお知らせ

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

サンプル曲について＊

本機は、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。楽曲を削除される場合は、SonicStage上で行ってください。
一度削除したサンプル曲は元に戻せません。また、新たにサンプル曲の提供はいたしませんのでご了承ください。

＊ お買い上げの国や地域によっては、サンプルデータはありません。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - コンテンツやファイルの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、ソニーの相談窓口（☞107ページ）にご相談ください。

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

目次
メニュー
索引

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN” ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple Inc.の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- “スタイルアップ” は、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生できる音楽ファイルの種類 （対応ビットレートとサンプリング周波数*1）

– MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応、32、44.1、48 kHz

– WMA*2 (Windows Media Audio)
32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応、44.1 kHz

– ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)
48 ～ 352 kbps（66*3、105*3、132 kbpsはATRAC3）、44.1 kHz

– AAC-LC*2 (Advanced Audio Coding Low Complexity)
16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*4、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz

– リニアPCM
1,411 kbps、44.1 kHz

*1 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*2 著作権保護されたファイルは再生できません。

*3 SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

*4 サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式、MP3形式およびリニアPCM形式の曲を転送した場合で計算しています。ほかの再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

	NW-E023F		NW-E025F	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	685曲	約45時間40分	1,350曲	約90時間00分
64 kbps	510曲	約34時間00分	1,000曲	約66時間40分
66 kbps	500曲	約33時間20分	995曲	約66時間20分
96 kbps	340曲	約22時間40分	680曲	約45時間20分
128 kbps	255曲	約17時間00分	515曲	約34時間20分
132 kbps	250曲	約16時間40分	495曲	約33時間00分
160 kbps	205曲	約13時間40分	410曲	約27時間20分
192 kbps	170曲	約11時間20分	340曲	約22時間40分
256 kbps	125曲	約8時間20分	255曲	約17時間00分
320 kbps	100曲	約6時間40分	205曲	約13時間40分
352 kbps	94曲	約6時間10分	185曲	約12時間20分
1,411 kbps（リニアPCM）	23曲	約1時間30分	47曲	約3時間00分

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

NW-E026F		
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	2,700曲	約180時間00分
64 kbps	2,000曲	約133時間20分
66 kbps	2,000曲	約133時間20分
96 kbps	1,350曲	約90時間00分
128 kbps	1,000曲	約66時間40分
132 kbps	1,000曲	約66時間40分
160 kbps	820曲	約54時間40分
192 kbps	685曲	約45時間40分
256 kbps	515曲	約34時間20分
320 kbps	410曲	約27時間20分
352 kbps	375曲	約25時間00分
1,411 kbps（リニアPCM）	94曲	約6時間10分

容量（ユーザー使用可能領域）*[1]

NW-E023F: 1 GB（約 968 MB = 1,015,726,080バイト）
NW-E025F: 2 GB（約 1.89 GB = 2,035,974,144 バイト）
NW-E026F: 4 GB（約 3.79 GB＝4,075,683,840バイト）

*[1] 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

ヘッドホン出力

- 出力
  5 mW +5 mW (16 Ω)
- 周波数特性
  20 ～ 20,000 Hz（ファイル再生時、単信号測定）

FMラジオ放送受信周波数

76.0 ～ 90.0 MHz（TV*[1] 1 ～ 3CH）

*[1] 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

IF（FM）

375 kHz

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（本機のUSB端子を接続して、パソコン等から供給）

充電時間

パソコンのUSBコネクタからの充電の場合
約60分

電池持続時間

省電力設定（☞55ページ）が「Save ON Super」に、Sound（☞29ページ）、Clear Stereo（☞34ページ）、Dynamic Normalizer（☞36ページ）が「OFF」に設定してあるときの目安です。周囲の温度や使用状況により、下記の持続時間は異なる場合があります。

NW-E023F/E025F/E026F	
本機の状態	
ATRAC 132 kbps再生時	約30時間
ATRAC 128 kbps再生時	約27時間
ATRAC 48 kbps再生時	約28時間
MP3 128 kbps再生時	約28時間
WMA 128 kbps再生時	約24時間
AAC 128 kbps再生時	約28時間
リニアPCM 1,411 kbps再生時	約25時間
FMラジオ放送受信中	約10時間

ディスプレイ

三行表示カラー液晶

本体寸法

81.9 × 22.1 × 13.8 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

最大外形寸法

83.7 × 22.3 × 16.2 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約28 g（JEITA）*1

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

動作環境（本機）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語版標準インストールのみ）。
  - Windows XP Home Edition（Service Pack 2以降）
  - Windows XP Professional（Service Pack 2以降）
  - Windows XP Media Center Edition 2004（Service Pack 2以降）
  - Windows XP Media Center Edition 2005（Service Pack 2以降）
  - Windows Vista Home Basic
  - Windows Vista Home Premium
  - Windows Vista Business
  - Windows Vista Ultimate

  64ビット版のOSには対応しておりません。

  上記以外のOSでは動作保証いたしません。
- CPU
  Pentium III 450 MHz以上（Windows Vistaの場合 Pentium III 800 MHz以上）
- メモリ
  128 MB以上（Windows Vistaの場合 512 MB以上）
- ハードディスクドライブ
  200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800 x 600 ピクセル以上（1024 x 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROM ドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RW ドライブが必要です。
- サウンドボード
- USB ポート（Hi-Speed USB推奨）
- Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。
- CDDB やインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合や、SonicStage でバックアップしたデータを復元する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。

上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOS から他のOS へのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

記号

あ行

か行

さ行

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

た行

は行

ま行

ら行

A、B、C、D

E、F、G、H

I、J、K、L

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

目次
メニュー
索引

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）**
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
  ※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名： NW-E023F/E025F/E026F
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面に記載
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「300」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）
0120-333-389
受付時間
月〜金：9:00〜20:00
土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1